

令和7年度砂川市小中一貫教育推進委員会 各WGグループ長レクについて

日 時 令和7年4月23日（水） 15:00～

場 所 砂川中学校図書室

1 グループ長・事務局自己紹介

2 確認事項

(1) 令和6年度の取組について

■教育課程ワーキンググループ

○ねらい

- ・教務的視点から、義務教育学校開校時に学校教育活動がスムーズに推進できる素地をつくる。

○ゴール【最低限のマスト】

- ・義務教育学校開校時の教務系業務の7割を整える。【作業すべきことの割合で評価】
(×7割に届かず)
- ・「総合的な学習の時間」の教育課程を完成させる。(○完了)
- ・「各教科・領域」の教育課程を完成させる。(×未着)
- ・「時間割表」(案)を完成させる。(×未着)
- ・「日課」を確定させる。(○完了)
- ・「通知表」を完成させる。(△内容については完了・データの作成が残っている)
- ・「全体計画」を完成させる。(○完了)
- ・「砂川学園 学習スタンダード」を作成・浸透させる。【中学校への汎用】(○完了)
※研究推進WGで取組終了

○取組内容

- ・会議：9回（下記のとおり）

	日程	主な内容
第1回	5月14日（火）	構成員と今年度の取組内容の確認
第2回	5月30日（木）	学校行事の検討
第3回	6月11日（火）	学校行事の検討
第4回	7月9日（火）	学校行事の検討
第5回	8月29日（木）	「総合的な学習の時間」カリキュラム検討 旅行的行事の検討
第6回	11月29日（金）	年間行事予定表の検討・日課表の検討
第7回	12月20日（金）	年間行事予定表の検討・「通知表」の検討
第8回	令和7年 1月30日（木）	年間行事予定表の検討・「日課表」の検討 「タブレット端末持ち帰りガイド（案）」の検討 「よくわかる砂川学園」の内容の検討
第9回	2月28日（金）	指導活動WG所管学校行事の検討（教務的視点から）

○取組の成果

- ・教務部に関わる学校行事について、日程や内容を確定させた。
- ・令和8年度の修学旅行について、業者選定を行い、日程（行程）を決定した。
- ・「総合的な学習の時間」の教育課程を確定した。
- ・「通知表」の項目や記入時期を確定した。

- ・「タブレット端末持ち帰りガイド」を確定した。
- ・「よくわかる砂川学園」の内容を確定した。

○取組の課題

- ・ 9年間を見通して教育課程全般の詳細について検討・作成をする必要がある。
- ・「総合的な学習の時間」の教育課程について、9年生の修学旅行地が東北方面となったことから、内容を修正する必要がある。
- ・ 特別教室割、年間行事予定（時数計算）、通知表様式（デジタルデータ）等について、詳細を決定、作成する必要がある。
- ・その他、C4thの利活用、タブレット端末活用のきまりについて協議をする必要がある。

○次年度に向けた取組

教育課程WGでは、義務教育学校開校までに主に次の青字のものを作成、検討し決定する。

【作成するもの】	【決めるべきこと】
<input type="checkbox"/> 教育課程（教育計画・配当時数等） <input type="checkbox"/> 各教科 <input checked="" type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 児童・生徒会活動 <input type="checkbox"/> 特別支援 <input type="checkbox"/> 学校行事 <input type="checkbox"/> 児童・生徒会活動 <input type="checkbox"/> クラブ活動 <input checked="" type="checkbox"/> 全体計画 <input type="checkbox"/> 時間割 <input checked="" type="checkbox"/> 日課表 <input type="checkbox"/> 特別教室割 <input type="checkbox"/> 通知表 <input checked="" type="checkbox"/> キャリアパスポート <input type="checkbox"/> 年間計画（途中） <input type="checkbox"/> 学校要覧 <input checked="" type="checkbox"/> 「よくわかる●●」リーフ <input checked="" type="checkbox"/> 特別支援教育CNリーフ <input checked="" type="checkbox"/> タブレットスキル系統表 <input checked="" type="checkbox"/> スタートカリキュラム <input checked="" type="checkbox"/> 経営計画	<input type="checkbox"/> 教材・副教材 <input checked="" type="checkbox"/> プール学習の持ち方 <input checked="" type="checkbox"/> スキー学習の持ち方 <input type="checkbox"/> 武道の持ち方 <input checked="" type="checkbox"/> 通知表の内容 <input type="checkbox"/> 指導要録のデータ整理 <input type="checkbox"/> 校務支援システムの利活用 <input checked="" type="checkbox"/> 学習に関わる持ち物の統一 <input checked="" type="checkbox"/> 使用するノートの統一 <input checked="" type="checkbox"/> 教室環境の統一（備品整備） <input type="checkbox"/> テスト発注 <input checked="" type="checkbox"/> 旅行的行事の仮予約 <input type="checkbox"/> タブレット端末活用のきまり <input checked="" type="checkbox"/> タブレット端末 <div style="text-align: center;">持ち帰りのきまり</div> <input type="checkbox"/> スクールバスについて <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事に関わること <input checked="" type="checkbox"/> 入学式 <input checked="" type="checkbox"/> 始業式 <input checked="" type="checkbox"/> 参観日・懇談会 <input checked="" type="checkbox"/> 学校経営説明会 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭訪問（個人懇談） <input checked="" type="checkbox"/> 宿泊学習 <input checked="" type="checkbox"/> 修学旅行 <input checked="" type="checkbox"/> 終業式 <input checked="" type="checkbox"/> 学芸会 <input checked="" type="checkbox"/> 卒業証書授与式 <input checked="" type="checkbox"/> 修了式・離任式

○活動の展望

- ・ R8用の「教育課程」を編成することがメインになる。
- ・作業量が膨大であることから、WG長の教頭やWG員に各種作成を依頼するケースが増える。

■研究推進ワーキンググループ

○ねらい

- ・義務教育学校開校時からの校内研究がスムーズに推進できる素地をつくる。

○ゴール

- ・義務教育学校開校時の研修系業務の7割を整える。【作業すべきことの割合で評価】（○完了）
- ・各教科の「学習系統表」を完成させる。（○完了）
- ・校内研究に関わる諸事項について協議、決定させる。（○完了）

○取組内容

- ・会議：7回（下記のとおり）

	日程	主な内容
第1回	5月21日（火）	構成員と今年度の取組内容の確認 学習系統表作成について（趣旨、内容、分担）
第2回	7月23日（火）	校内研究推進に関わる諸事項の協議① （方向性、研究主題、主題設定の理由）
第3回	8月29日（木）	校内研究推進に関わる諸事項の協議② （研究仮説、検証方法、研究方法、研究内容、推進計画、 研究構造図）
第4回	9月24日（火）	教室環境の統一についての協議 砂川市学習スタンダードの内容検討（中学校への汎用） 研究推進ロードマップの検討
第5回	12月17日（火）	砂川学園「スタートカリキュラム」の検討 砂川学園「タブレットスキル系統表」の検討
第6回	1月30日（木）	学習系統表の確認
第7回	令和7年 2月25日（火）	砂川学園「学習指導案」形式の検討 1年間の取組の反省（次年度に向けた論点整理）

○取組の成果

- ・砂川学園における校内研究について、研究の仮説、内容、方法等についておおむね確定させた。
- ・令和8年度の校内研究が4月からスムーズに推進されるよう、年間を通した校内研究推進のロードマップを作成・決定した。
- ・現在の「学習スタンダード」を見直し、中学校にも汎用できる形に改訂した。
- ・教室に掲示するものや場所について確定させた。
- ・「砂川学園スタートカリキュラム」を作成・確定した。
- ・「砂川学園タブレットスキル系統表」を作成・確定した。
- ・「砂川学園学習系統表」を作成・確定した。
- ・「学習指導案」の様式を確定した。

○取組の課題

- ・教育課程WGで作成している年間行事予定表と連動させながら、年間の研修計画について検討する必要がある。
- ・令和8年度の校内研究が4月からスムーズに推進されるよう、年間を通した校内研究推進のロードマップについて、特に令和8年1月～3月までの取組を、現在の市内6校で着実に進めていく必要がある。
- ・教室に掲示する「発表の仕方」と「振り返りのパターン」を作成する必要がある。

○次年度に向けた取組

研究推進WGでは、義務教育学校開校までに主に次の青字のものを作成、検討し決定する。

<p>【作成するもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>教室環境の統一（掲示物） <input type="checkbox"/>発表の仕方 <input checked="" type="checkbox"/>学習の姿勢 <input type="checkbox"/>振り返りのパターン <input checked="" type="checkbox"/>家庭学習のきまり <input checked="" type="checkbox"/>学習系統表 <input checked="" type="checkbox"/>経営計画 	<p>【決めるべきこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/>校内研究推進に関わる諸事項 <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/>研究推進の方向性 <input checked="" type="checkbox"/>研究主題 <input checked="" type="checkbox"/>主題設定の理由 <input checked="" type="checkbox"/>研究仮説 <input checked="" type="checkbox"/>検証方法 <input checked="" type="checkbox"/>研究方法 <input checked="" type="checkbox"/>研究内容 <input checked="" type="checkbox"/>研究推進計画 <input checked="" type="checkbox"/>研究構造図
--	--

○活動の展望

- ・研究推進WGについては、令和6年度におおむねそのミッションを達成したことから、令和7年度は組織しないこととする。
- ・上記青字のものについては、砂川小学校と砂川中学校の主幹教諭に作成を依頼し、作成後、砂川市小中一貫教育推進委員会に事務局提案する。

■指導活動ワーキンググループ

○ねらい

- ・義務教育学校開校時から、安定した児童生徒指導や、子供たちの主体的活動がスムーズに推進できるよう、生徒指導の基盤と学級活動、児童生徒会活動等の諸活動の推進計画を作成する。

○ゴール

- ・義務教育学校開校時の指導系業務の7割を整える。【作業すべきことの割合で評価】（○完了）
- ・「校則」を完成させる。（○完了）
- ・「自転車通学のきまり」を完成させる。（△内容検討は完了・作成が残っている）
- ・「児童生徒会組織」「児童生徒会活動」について検討、協議し、決定する。（○完了）
- ・「部活動体制」について検討、協議し、決定する。（×未着）
- ・「清掃割当表」について検討、協議し、決定する。（△データは完了・検討が残っている）
- ・「指導系行事・児童生徒会行事」について検討、協議し、決定する。（○完了）

○取組内容

- ・会議：9回（下記のとおり）

	日程	主な内容
第1回	5月28日（火）	構成員と今年度の取組内容の確認
第2回	6月3日（月）	生徒指導に関わることの協議（校則）
第3回	7月1日（月）	生徒指導に関わることの協議（校則）
第4回	9月26日（木）	児童生徒会に関わることの協議
第5回	10月29日（火）	作成物の確認（生徒指導G・児童生徒会G） 学校行事に関わることの協議①
第6回	11月19日（火）	学校行事に関わることの協議②
第7回	12月19日（木）	学校行事に関わることの協議③
第8回	令和7年 1月30日（木）	学校行事に関わることの協議④
第9回	2月25日（火）	学校行事に関わることの協議⑤

○取組の成果

- ・砂川学園の「校則」について確定させた。
- ・自転車通学の対象学年やヘルメット着用義務化などについて確定させた。
- ・砂川学園の「児童生徒会活動」について確定させた。
- ・指導部や保体部に関わる学校行事や児童生徒会行事について、日程や内容を確定させた。

○取組の課題

- ・部活動の詳細について検討・作成をする必要がある。
- ・校則について教職員のコンセンサスをとる場を設けるとともに、保護者に説明する必要がある。
- ・清掃について、詳細を決定、作成する必要がある。
- ・その他、図面（データ）を作成し、防災計画（火災）を確定させ、消防に各種届を提出する必要がある。

○次年度に向けた取組

指導活動WGでは、義務教育学校開校までに主に次の青字のものを作成、検討し決定する。

【作成するもの】

□生徒指導に関わること

☑校則（学校生活のきまり）

□自転車通学のきまり

☑危機管理マニュアル

☑各種災害BCP

☑学校いじめ防止基本方針

□防災計画

☑アナフィラキシー対応マニュアル

□SC・SSWだより

□スクールバス利用者リスト

☑生徒指導共有ファイル

いじめ・問題行動・不登校 等

☑児童生徒会活動に関わること

☑投票用紙

☑委員会割当表

□部活動に関わること

□部活動運営ガイドライン

☑経営計画

【決めるべきこと】

☑生徒指導に関わること

☑校則（学校生活のきまり）

☑自転車通学のもち方

☑児童生徒会活動に関わること

☑児童会役員の構成

☑行事への参画のさせ方

☑委員会の内容と数

☑役員改選の時期

□部活動に関わること

□基本的な考え方

□運営

□地域移行

□各種手続き及び留意事項

□その他

☑学校行事に関わること

☑新入生を祝う会

☑運動会

☑陸上大会

☑中体連壮行会

☑遠足

☑学園祭

☑●●フェスティバル

☑卒業生を送る会

☑学芸会

☑交通安全教室

☑不審者対応訓練

☑避難訓練

☑防災教室

○活動の展望

- ・R8は「部活動」に関わる事項の検討がメインになる。
- ・作業量が膨大であることから、WG長の教頭に各種作成を依頼するケースが増える。

■学校連携ワーキンググループ

○ねらい

- ・中学校への進学に際し、事前に市内小学校6年生児童の交流をもつことで、児童の不安を解消する。
- ・令和8年4月の義務教育学校新設に向けて、段階的に交流学年を広げ、児童の人間関係づくりを円滑に進めていく。
- ・小学校段階から家庭学習に取り組む習慣を身につけさせるとともに、小学校での学習内容の理解・定着を高め、中学校入学後の学習にスムーズにつなげる素地をつくる。
- ・中学校教員の専門的な指導を早期に受けることにより、児童が中学校の授業に慣れるとともに入学する児童の様子について中学校側が把握する。

○ゴール

- ・計画された事業を行い、市内5校の4・5・6年生の95%以上が「楽しかった！」、85%以上が「交流できた！」という気持ちを抱かせる。

【合同遠足】

⇒未達成：楽しかった（6年生・94%、5年生・99%）

⇒達成：交流できた（6年生・92%、5年生・93%）

【5校交流会】

⇒達成：楽しかった（6年生・98%、5年生・95%、4年生・96%）

⇒達成：交流できた（6年生・94%、5年生・89%、4年生・94%）

- ・「家庭学習チャレンジ週間」の取組を通じ、1回目から4回目までの家庭学習の状況を分析し、学習時間の向上を図る。（○完了）
- ・「家庭学習チャレンジ週間」の取組を通じ、1回目から4回目までの保護者コメントの状況を分析し、保護者関与の向上を図る。（○完了）
- ・計画された乗り入れ授業を行い、市内5校の5・6年生の90%以上が「中学校の先生の授業をまた受けてみたい」「中学校の先生の授業はわかりやすかった」という気持ちを抱かせる。
⇒達成：%
- ・小学校版に寄せた中学校の「共通チャレンジシート」を作成する。（×未着）

○取組内容

- ・会議：8回（下記のとおり）

	日程	主な内容
第1回	5月21日（火）	構成員と今年度の取組内容の確認 家庭学習チャレンジ週間の取組について
	6月6日（木）～12日	家庭学習チャレンジ週間①
第2回	6月21日（金）	第1回家庭学習チャレンジ週間の分析・考察 合同遠足の実施に向けて【概要案】
第3回	7月23日（火）	合同遠足の実施に向けて【細案】
第4回	9月3日（火） ★オンライン	合同遠足の最終確認 第1回5校交流会に向けて①【概要案】
	9月13日（金）	合同遠足
	9月19日（木）～25日	家庭学習チャレンジ週間②
	11月6日（水）	6年生乗り入れ授業
第5回	11月8日（金）	合同遠足反省・第1回5校交流会に向けて②【細案】
	11月14日（木）～20日	家庭学習チャレンジ週間③
	11月29日（金）	第1回5校交流会①（6年生）
第6回	12月17日（火）	第1回5校交流会反省・学年交流会について

		第2回5校交流会に向けて①【概要案】
第7回	令和7年1月31日（金）	第2回5校交流会に向けて②【細案】
	2月13日（木）～19日	家庭学習チャレンジ週間④
	2月21日（金）	第2回5校交流会②（4・5年生）
	2月28日（金）	3年学年交流会
	3月7日（金）	2年学年交流会
第8回	3月17日（月）	第4回家庭学習チャレンジ週間の分析・考察 第2回5校交流会及び学年交流会反省 取組の反省と次年度へ向けての展望

○取組の成果

- ・予定していた取組を全て終えることができた。
- ・合同遠足や交流会については、担当校の工夫により、昨年度よりも内容を充実させるとともによりスムーズな運営を行うことができた。
- ・交流会については、対象学年を2年生まで拡大させることができた。
- ・取組に関わる目標数値を達成することができた。

○取組の課題

- ・中学校の家庭学習取組シートを小学校のチャレンジシートに様式を寄せる必要がある。
- ・「チャレンジ週間」の取組についてマンネリとならないような工夫を考える必要がある。

○次年度に向けた取組

学校連携WGでは、次年度についても赤字の取組を継続実施する。

【作成するもの】

- | | | | |
|---|--|--|--------|
| <input checked="" type="checkbox"/> 家庭学習チャレンジ週間 | <input checked="" type="checkbox"/> 乗り入れ授業 | <input checked="" type="checkbox"/> 5校交流会アンケート | ※分析・考察 |
| <input type="checkbox"/> 鏡文書（年4回） | <input type="checkbox"/> 計画 | <input checked="" type="checkbox"/> 合同遠足アンケート | ※分析・考察 |
| <input type="checkbox"/> チャレンジシート（年4回） | <input type="checkbox"/> アンケート集計 | <input checked="" type="checkbox"/> 学年交流会アンケート | ※分析・考察 |
| <input type="checkbox"/> アンケート集計（年2回） | ※分析・考察 | | |
| | ※分析・考察 | | |

○活動の展望

- ・中学校の家庭学習取組シートを小学校のチャレンジシートに様式を寄せる。
- ・「チャレンジ週間」の取組方法は今年度である程度決着がついたので、次年度以降は今年度の取り組み方をベースとしたルーティンにする。
- ・「乗り入れ授業」は6年生のみ、今年度と同様のスタイルとする。
- ・外国語科（外国語活動）について、3年生以上で全ての小学校で専科制を実施する。
- ・低学年（1・2年）対象の外国語活動も実施する（月1回：年10回）。
- ・「砂川市版キャリア・パスポート」を活用する。

(2) 砂川市小中一貫教育推進計画に基づく小中一貫教育推進の年次計画について

令和8年度の砂川学園の開校に向け、令和5年度～令和7年度の3か年において、全ての学校において共通して取り組む実践内容を整理するとともに、市内全校が統一した小中一貫教育の推進を通してスムーズな開校につなげる。

(R7重点 赤字：各学校、青字：部会 はR5～すでに取り組んでいる事項)

基礎学力の定着と学習習慣の向上、評価分析		
令和5年度	令和6年度	令和7年度
<input checked="" type="checkbox"/> 全国学力学習状況調査結果の公表 <input checked="" type="checkbox"/> 各学校の学力調査結果の分析及び学習指導の改善 <input checked="" type="checkbox"/> オンラインによる授業参観を通して、教職員が主体的に研修できる機会の設定 <input checked="" type="checkbox"/> 学習スタイルの統一（砂川スタンダード）による小中切れ目のない学習指導の実現 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭学習の習慣の定着を目指す取組【学校連携WG】 <input checked="" type="checkbox"/> 義務教育9年間を見通した各教科学習内容系統表の作成・活用 <input type="checkbox"/> 小学校4年生（前期課程後半）における一部教科担任制を見据えた指導体制の構築及び実施 <input checked="" type="checkbox"/> 小中連携した外国語科授業の実施（令和6年度） <input type="checkbox"/> 9年間を見通した小学校（前期課程）1年生からの外国語科授業の実施		
砂川市GIGA スクール構想の推進		
令和5年度	令和6年度	令和7年度
<input checked="" type="checkbox"/> 一人一台端末の授業時及び自学自習時における活用 <input checked="" type="checkbox"/> 対面指導とオンライン教育とを最適に組み合わせた授業改善による学びの質の向上 <input checked="" type="checkbox"/> 一人一台端末の活用スキル系統表の作成・活用		
不登校等の生徒指導上の諸課題の減少と未然防止		
令和5年度	令和6年度	令和7年度
<input checked="" type="checkbox"/> 小中連携した児童・生徒の情報共有 <input checked="" type="checkbox"/> 小中一貫した教育相談体制整備による中1ギャップの減少 <input checked="" type="checkbox"/> スクリーニングを活用した組織的な児童生徒理解の促進と教育相談体制の確立 <input checked="" type="checkbox"/> 一人一台端末を活用した、不登校児童生徒へのオンラインによる学習支援の実施		
幼保・小中（6校）の連携		
令和5年度	令和6年度	令和7年度
<input checked="" type="checkbox"/> 児童会、生徒会が連携した交流事業の実施【学校連携WG】 <input checked="" type="checkbox"/> 中1不安解消を目的とした模擬授業体験、学校説明会等の取組 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校教員の乗り入れ授業の実施 <input checked="" type="checkbox"/> 小中合同研修会の実施 <input checked="" type="checkbox"/> 幼・保・小のつながりを意識した特別な配慮を必要とする子どもの円滑な引継ぎ <input type="checkbox"/> スタートカリキュラムの共有による幼・保・小の円滑な接続		
ふるさと砂川を誇りに思う心の育成		
令和5年度	令和6年度	令和7年度
<input checked="" type="checkbox"/> 9年間を見通した「キャリア・パスポート」の運用・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 9年間を貫く「総合的な学習の時間」のカリキュラム作成・一部運用 <input checked="" type="checkbox"/> 総合的な学習の時間における地域と連携した体験学習の実施（職業体験、職場見学、農業体験等）の実施 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクールや社会教育と連携した地域学校協働活動の推進 <input type="checkbox"/> デジタル社会を生き抜くICT活用スキルの育成		

防災教育や安全教育の充実		
令和5年度	令和6年度	令和7年度
<input checked="" type="checkbox"/> 火災、地震時の避難訓練の実施 <input checked="" type="checkbox"/> 不審者対応の避難訓練による危機管理意識の育成		

(3) 令和7年度取組の重点について

砂川市教育目標の基本理念「豊かな心と 学ぶ力を育むまち」を中心施策とし、「砂川市教育推進計画」及び「令和7年度砂川市教育実践方針」に基づき、次の事項を全ての学校で共通して取り組むべき本年度の重点とする。（赤字：各学校、青字：部会）

基礎学力の定着と学習習慣の向上、評価分析		
内容	具体案	
○ 全国学力学習状況調査結果の公表	学校だよりや学校運営協議会で早期に公表	
○ 各学校の学力調査の結果の分析及び学習指導の改善	授業改善に向けた校内研修の充実	
○ オンラインによる授業参観を通じた、教職員が主体的に研修できる機会の設定	全小中学校で実践・検証⇒教育課程WG	
○ 学習スタイルの統一（砂川スタンダード）による小中切れ目のない学習指導の実現	校内研究と結びつけ、全小中学校で実践・検証する。	
○ 家庭学習の習慣の定着を目指す取組（家庭学習チャレンジ週間の実践・家庭学習の手引き「学びのつながり」の活用）	全小中学校で実践・検証⇒学校連携WG	
★ 義務教育9年間を見通した各教科学習内容系統表の活用	NRTの結果を入力してみ、自校の児童生徒の強みと弱みを洗い出してみる	
★ 小学校4年生（前期課程後半）における一部教科担任制の実施（外国語科・理科）	3年生以上で外国語科（活動）の乗り入れ授業（毎週）を行う。 ※砂川小のみ自校で専科指導を行う	
★ 9年間を見通した小学校（前期課程）1年生からの外国語科授業の実施	小学1・2年生で外国語科の乗り入れ授業（月1回）	
砂川市GIGA スクール構想の推進		
○ 一人一台端末の授業時及び自学自習時における活用（学習者用デジタル教科書・AIドリル教材等）	英語、算数・数学で実施 ※統一学習アプリ検討⇒教育課程WG	
○ 対面指導とオンライン教育とを最適に組み合わせた授業改善による学びの質の向上	日常の実践・校内研究	
○ 一人一台端末の活用スキル系統表の活用	学年の到達目標に向けたスキル指導の充実	
不登校等の生徒指導上の諸課題の減少と未然防止		
○ 小中連携した児童・生徒の情報共有	小学校6年生の担任と中学校教員の情報交流 砂川市特別支援教育連携協議会での情報交換《市教委》	
★ 小中一貫した教育相談体制整備による中1ギャップの減少	Q-Uを活用した個別の教育相談体制の整備 教育支援センター利用ニーズ調査の実施《市教委》	
○ 一人一台端末を活用した、不登校児童生徒へ	授業配信（双方向でできれば対応）	

	のオンラインによる学習支援の実施	※ニーズを確認する必要あり
幼保・小中（6校）の連携		
○	小学校5校交流会の実施（4・5・6年生で実施） ※6年生 11月28日（金） ※4・5年生 2月21日（金）	学校連携WG ※学校独自の小小連携・小中連携の取組推進（合同授業、学習サポート連携 等）
○	小学校5校合同遠足の実施（5・6年生で実施） ※9月12日（金） 予備日：9月18日（木）	学校連携WG
★	スタートカリキュラムの共有による幼・保・小の円滑な接続	小学校においては、スタートカリキュラムに準じた1年生の教育課程の編成 幼保との共有と年長児童の卒園間際のカリキュラムの接続《市教委》
○	中学校教員の乗り入れ授業の実施（6年生：年2時間実施）	学校連携WGで取りまとめ
ふるさと砂川を誇りに思う心の育成		
○	9年間を見通した「キャリア・パスポート」の運用・改善	年3回の記入とポートフォリオ
★	デジタル社会を生き抜くICT活用スキルの育成	各学校の教育課程全体を通して「情報処理力」を高める学習活動を推進する ※スキル系統表との関連を図る
その他		
★	市内全校で統一した「育成を目指す資質・能力」の設定	各学校の教育課程全体を通して「情報処理力」を高める学習活動を推進する。 ※「主体性」「あいさつ」「運動の楽しさの実感」「情報処理力」
★	学校・保護者間連絡アプリ「コドモン」の共通活用による市内統一したスムーズな情報発信と教職員の働き方改革の推進	各学校で実践（教頭）が中心となる
★	義務教育9年間で培った「生きる力」を深化・発展させるための進学先について、幅広い視野をもって選択できる、市内高等学校・看護学校、地域の大学等との連携	連携先と連携の狙いを精査する《市教委》

(4) 令和7年度の取組の具体について

◇ワーキンググループの活動について

<p>ア 会議日程は（案）であり、それぞれのグループ長が学校の予定等を勘案しながら、構成員に確認をして設定する。</p> <p>イ 教育委員会事務局も会議に参加することを基本とするが、議会等の関係から参加が叶わないこともある。その場合は、グループ長は会議内容を指導参事まで報告する。</p> <p>ウ 会議場所は、各グループ長が在籍する学校を基本とする。</p> <p>エ 各WGで検討・作成したものについては、学校経営WGで再度検証し、最終的に「砂川市小中一貫教育推進委員会」において決定する。</p>
--

■教育課程ワーキンググループ

○ねらい

- ・教務的視点から、義務教育学校開校時に学校教育活動がスムーズに推進できる素地をつくる。

○ゴール

- ・9年間を見通して教育課程を検討・作成する。
- ・「総合的な学習の時間」の教育課程について、9年生部分の内容を修正する。
- ・特別教室割を作成する。
- ・年間行事予定を完成させ、時数集計を終える。
- ・通知表様式（デジタルデータ）の詳細を決定・作成する。
- ・タブレット端末活用のきまりを決定・作成する。

○取組

教育課程WGでは、義務教育学校開校までに次の青字のものを作成、検討し決定します。

【作成するもの】	【決めるべきこと】
<input type="checkbox"/> 教育課程（教育計画・配当時数等） <input type="checkbox"/> 各教科 <input checked="" type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 児童・生徒会活動 <input type="checkbox"/> 特別支援 <input type="checkbox"/> 学校行事 <input type="checkbox"/> 児童・生徒会活動 <input type="checkbox"/> クラブ活動 <input checked="" type="checkbox"/> 全体計画 <input type="checkbox"/> 時間割 <input checked="" type="checkbox"/> 日課表 <input type="checkbox"/> 特別教室割 <input type="checkbox"/> 通知表 <input checked="" type="checkbox"/> キャリア・パスポート <input type="checkbox"/> 年間計画（途中） <input type="checkbox"/> 学校要覧 <input checked="" type="checkbox"/> 「よくわかる●●」リーフ <input checked="" type="checkbox"/> 特別支援教育CNリーフ <input checked="" type="checkbox"/> タブレットスキル系統表 <input checked="" type="checkbox"/> スタートカリキュラム <input checked="" type="checkbox"/> 経営計画	<input type="checkbox"/> 教材・副教材 <input checked="" type="checkbox"/> プール学習のもち方 <input checked="" type="checkbox"/> スキー学習のもち方 <input type="checkbox"/> 武道のもち方 <input checked="" type="checkbox"/> 通知表の内容 <input type="checkbox"/> 指導要録のデータ整理 <input type="checkbox"/> 校務支援システムの利活用 <input checked="" type="checkbox"/> 学習に関わる持ち物の統一 <input checked="" type="checkbox"/> 使用するノートの統一 <input checked="" type="checkbox"/> 教室環境の統一（備品整備） <input type="checkbox"/> テスト発注 <input checked="" type="checkbox"/> 旅行的行事の仮予約 <input type="checkbox"/> タブレット端末活用のきまり <input checked="" type="checkbox"/> タブレット端末持ち帰りのきまり <input type="checkbox"/> スクールバスについて

○会議日程（案）

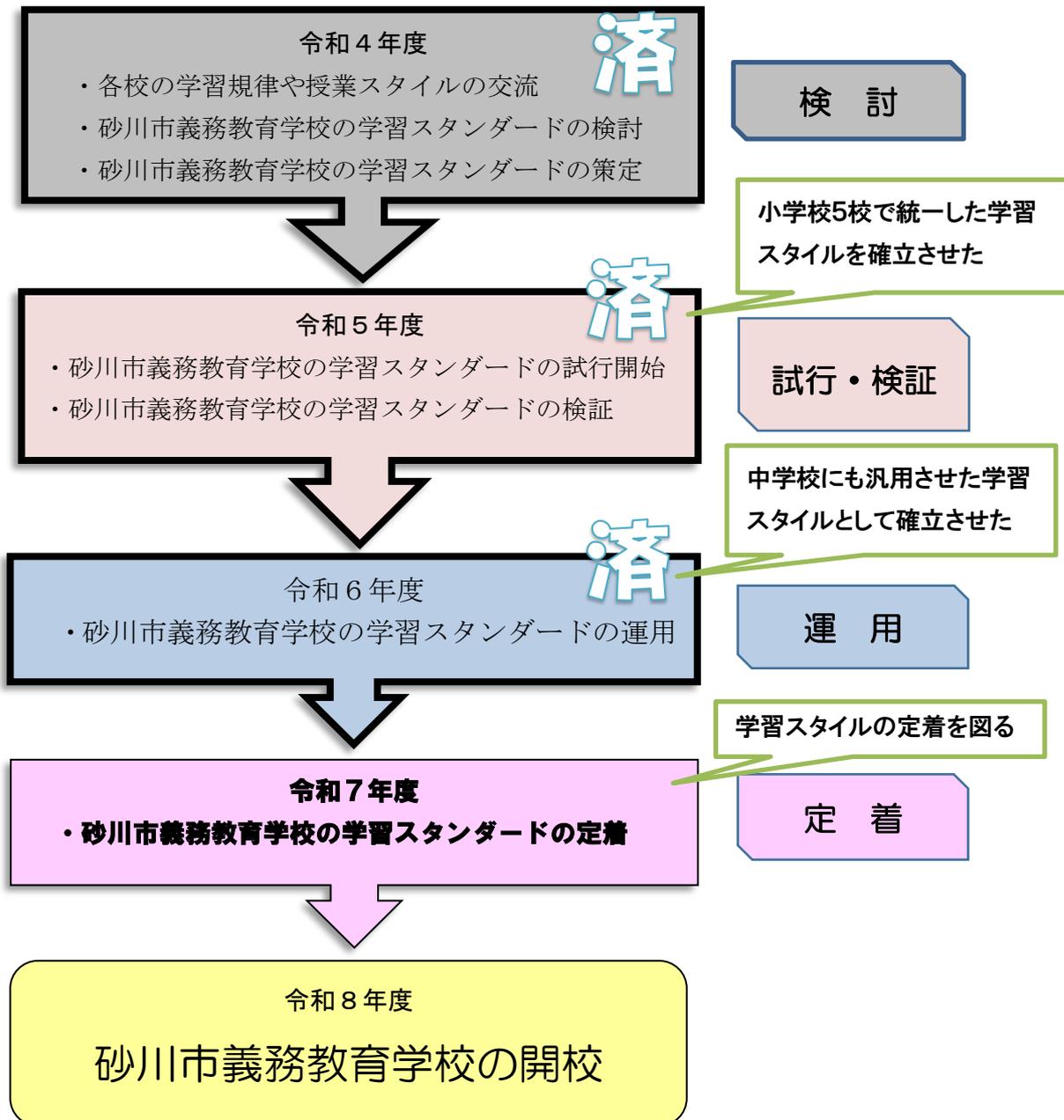
	日程（案）	主な内容
第1回	5月8日（水）	構成員と今年度の取組内容の確認
第2回	5月27日（火）	作成物と役割分担、武道に関わる検討
第3回	6月9日（月）	教育課程の検討・協議①
第4回	7月22日（火）	教育課程の検討・協議②
第5回	8月29日（金）	教育課程の検討・協議③
第6回	11月27日（木）	教育課程の検討・協議④ ※完成
第7回	12月3日（水）	時間割、特別教室割、通知表、得点通知表の内容の検討・協議
第8回	令和8年1月21日（水）	開校までの庶務整理（テスト発注等）
第9回	3月4日（水）	開校までの庶務整理

砂川市における義務教育学校 授業スタンダード策定に関わる推進日程

(1) 授業スタンダード設定の趣旨

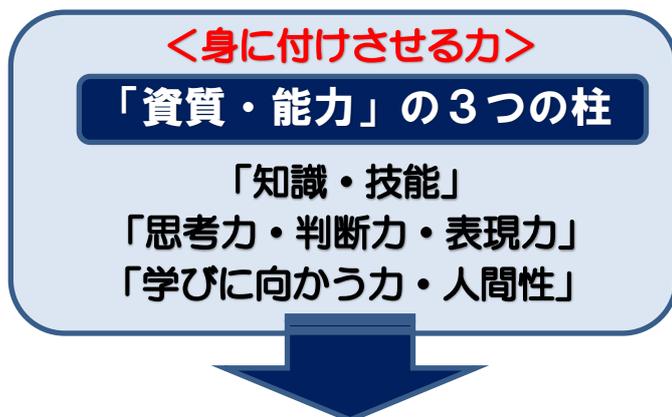
砂川市の子供たちに、学習指導要領で示されている3つの資質・能力「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力・人間性」を確実に身に付けさせ、義務教育学校の目指す児童生徒像に迫るため、日常の授業の中で授業スタンダードを意識した授業づくりが必要となる。

(2) 推進計画



1 はじめに

学習指導要領で示されている「3つの柱」



砂川市小中一貫教育「全体構造図」による目指す児童像

目指す児童生徒像【確かな学力】
よりよく考え、自ら進んで学習に取り組む児童生徒

2 学びの姿勢

(1) 学習のきまり

<授業前>

- ① 次の時間の準備をします。～教科書、ノート、筆記用具～机上整理→(2)
- ② 忘れ物をしたときは、休み時間のうちに先生に報告します。
- ③ チャイムが鳴り終わるまでに席に着きます。

<授業中>★正しい姿勢で座ります。

【聞く】

- ① 話す人を見ながら最後まで聞きます。
- ② 自分の考えと比べながら聞きます。
- ③ 聞き終わったら返事をします。(同じです。いいです。他にあります。など)

【発表する】

- ① 名前を呼ばれたら相手に聞こえるように返事をします。
- ② みんなに聞こえる声の大きさと語尾まではっきり話します。
- ③ 順序よく、整理して伝えます。

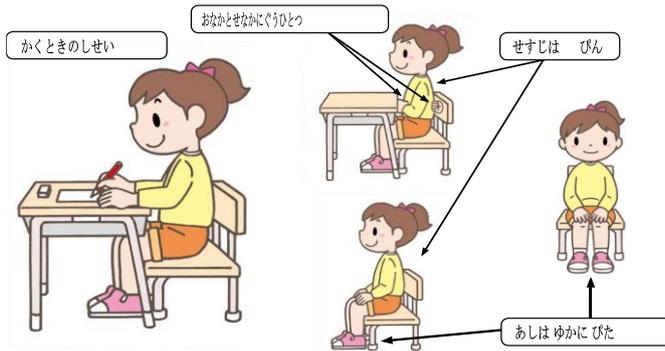
【書く】 ※「課題」は青、「まとめ」は赤

- ① 正しい姿勢で書きます。
- ② 正しい鉛筆の持ち方で書きます。
- ③ ていねいに字を書きます。



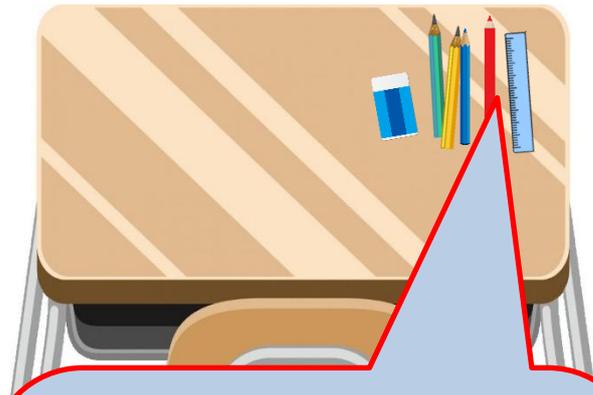
<授業後>★次の授業の準備をしてから、休み時間に入ります。

しせいのもんさしごう・ぴた・ぴん。



(2) 机上の整理

鉛筆 シャープペンシル	1年 2B 2年 2BまたはB 3年~BまたはHB 7年~シャープペンシル可
色鉛筆 (青・赤)	1・2年は色鉛筆 3年~ボールペン可
消しゴム	四角いもの
15 cm定規	1年生から使用 折りたたみ式不可



机の上には、学習に集中できるように余計な物は置かない。

基本的には、【鉛筆（シャープペンシル）・消しゴム・色鉛筆またはボールペン（青と赤）・定規】とし、柄はシンプルなもの。

端から定規・鉛筆・消しゴムの順（またはその逆）に置くと鉛筆を落とすことが少なくなる。「置く順序」や「縦向き・横向き」「位置」などは、状況に応じて対応する。

(3) 筆入れに入れる物

- ①鉛筆5本程度（シャープペンシル）
 - ②色鉛筆（ボールペン）
 - ③消しゴム
 - ④定規（15 cm）
 - ⑤油性ネームペン（2年生以上）
- ※その他、教科や授業によって必要なもの
・蛍光ペン、のり、コンパス 等

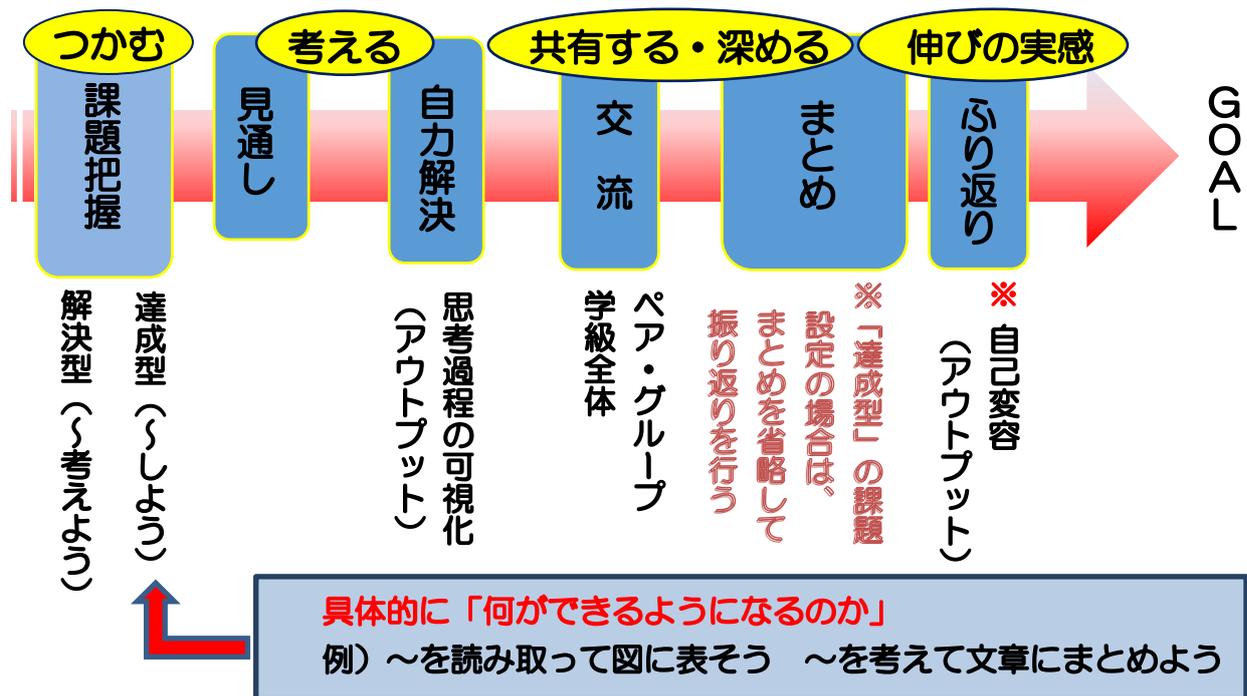
(4) 学習用ノート

学校では、ていねいな文字で学習内容をまとめるノート指導を充実させ、学力の定着を図るため、それぞれの教科で使用するノートを下表のとおりそろえます。

教科	1年生	2年生	3年生	4・5・6年生	7・8・9年生
国語	8マス 十字リーダー入	15マス 十字リーダー入	18マス 十字リーダー入	5ミリ方眼 十字リーダー入	大学ノート
算数	7マス 十字リーダー入	14マス 十字リーダー入	5ミリ方眼 十字リーダー入		
社会					
理科					
その他	【必要に応じて】 連絡帳・自由帳				

3 授業の流れ

(1) 1 単位時間の授業展開



(2) 振り返り

子供自身に「振り返り」の意義を実感させ、授業を通して「振り返り」の習慣化を図る工夫、次時の授業への期待を高めることや家庭学習などへつなげることが必要です。

【「振り返り」の指導ポイント】

- ◆ 「振り返り」の目的を子供たちに伝えること。
- ◆ 「振り返り」の時間をしっかり確保し、習慣化すること。
- ◆ 「課題」と「振り返り」がつながるように、振り返る視点を児童生徒に示すこと。
- ◆ 「振り返り」につながる板書・ノートを工夫すること。

【振り返りの視点 (例)】

習得	• 学びの変容振り返る	「〇〇が分かった。」「〇〇ができるようになった。」 【例】「登場人物の気持ちを読み取るには、その言葉や行動に着目すれば読み取れることが分かった。」
	• 学びの過程や結果を振り返る	「〇〇することが分かった。」「〇〇することができるようになった。」 【例】「いくつかの資料を比較して読むことで、江戸時代の農民と武士の生活の様子が分かった。」
	• 交流を振り返る	「〇〇な考え方もあるんだ。」「Aさんはなぜ、こう考えたのだろう。」（「問い」） 【例】「最初はAさんの考えに反対だったが、話し合いを通して、Aさんの考えが少し理解できるようになった。しかし、自分は〇〇なので〜」 「（サブ）上から打つ方が絶対いいと思っていたけれど、作戦タイムを通して、いろいろな打ち方を試してみようと思った。」
活用探究	• 活用問題に取り組み • 他の単元・教科で活用する • 次につなげる	「〇〇でもできるかやってみよう。」「もっと〇〇について考えたい。」 「もし〇〇だったらどうかな。」（「問い」） 【例】「あさがおの育て方を勉強したので、今度は家でひまわりを育ててみたいと思いました。」 「お礼状の書き方を学んだので、職場体験でお世話になった職場の方に お礼状を書いてみたい。」

■指導活動ワーキンググループ

○ねらい

- ・義務教育学校開校時から、安定した児童生徒指導や、子供たちの主体的活動がスムーズに推進できるように、生徒指導の基盤と学級活動、児童生徒会活動等の諸活動の推進計画を作成する。

○ゴール

- ・部活動の詳細について検討・作成をする。
- ・校則について教職員のコンセンサスをとる場を設けるとともに、保護者に説明する。
- ・清掃について、詳細を決定させる。
- ・防災計画（火災）を確定させ、消防に各種届を提出する。

○取組

指導活動WGでは、義務教育学校開校までに主に次の青字のものを作成、検討し決定する。

【作成するもの】	【決めるべきこと】
<input type="checkbox"/> 生徒指導に関わること <input checked="" type="checkbox"/> 校則（学校生活のきまり） <input type="checkbox"/> 自転車通学のきまり <input checked="" type="checkbox"/> 危機管理マニュアル <input checked="" type="checkbox"/> 各種災害BCP <input checked="" type="checkbox"/> 学校いじめ防止基本方針 <input type="checkbox"/> 防災計画 <input checked="" type="checkbox"/> アナフィラキシー対応マニュアル <input type="checkbox"/> SC・SSWだより <input type="checkbox"/> スクールバス利用者リスト <input checked="" type="checkbox"/> 生徒指導共有ファイル いじめ・問題行動・不登校 等 <input checked="" type="checkbox"/> 児童生徒会活動に関わること <input checked="" type="checkbox"/> 投票用紙 <input checked="" type="checkbox"/> 委員会割当表 <input type="checkbox"/> 部活動に関わること <input type="checkbox"/> 部活動運営ガイドライン <input checked="" type="checkbox"/> 経営計画	<input checked="" type="checkbox"/> 生徒指導に関わること <input checked="" type="checkbox"/> 校則（学校生活のきまり） <input checked="" type="checkbox"/> 自転車通学のもち方 <input checked="" type="checkbox"/> 児童生徒会活動に関わること <input checked="" type="checkbox"/> 児童会役員の構成 <input checked="" type="checkbox"/> 行事への参画のさせ方 <input checked="" type="checkbox"/> 委員会の内容と数 <input checked="" type="checkbox"/> 役員改選の時期 <input type="checkbox"/> 部活動に関わること <input type="checkbox"/> 基本的な考え方 <input type="checkbox"/> 運営 <input type="checkbox"/> 地域移行 <input type="checkbox"/> 各種手続き及び留意事項 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 通学路に関わること
	<input checked="" type="checkbox"/> 学校行事に関わること <input checked="" type="checkbox"/> 新入生を祝う会 <input checked="" type="checkbox"/> 運動会 <input checked="" type="checkbox"/> 陸上大会 <input checked="" type="checkbox"/> 中体連壮行会 <input checked="" type="checkbox"/> 遠足 <input checked="" type="checkbox"/> 学園祭 <input checked="" type="checkbox"/> フェスティバル <input checked="" type="checkbox"/> 卒業生を送る会 <input checked="" type="checkbox"/> 学芸会 <input checked="" type="checkbox"/> 交通安全教室 <input checked="" type="checkbox"/> 不審者対応訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 避難訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 防災教室

○会議日程（案）

	日程（案）	主な内容
第1回	5月7日（水）	構成員と今年度の取組内容の確認 通学路の確認
第2回	6月2日（月）	部活動に関わることの協議①
第3回	7月2日（水）	部活動に関わることの協議②
第4回	9月29日（月）	部活動に関わることの協議③ 自転車通学に関わることの協議
第5回	10月30日（木）	作成物の確認（生徒指導G・児童生徒会G）
第6回	11月21日（金）	清掃割当てに関わることの協議① 校則や砂川学園での生活指導に関わる説明要領の確認
第7回	12月17日（水）	清掃割当てに関わることの協議②
第8回	令和8年	防災計画及び各種危機管理マニュアルの確認

	1月28日(水)	
第9回	2月26日(木)	開校までの庶務整理

■学校連携ワーキンググループ

○ねらい

- ・中学校への進学に際し、事前に市内小学校6年生児童の交流をもつことで、児童の不安を解消する。
- ・義務教育学校開校に向けて、段階的に交流学年を広げ、児童の人間関係づくりを円滑に進めていく。
- ・小学校段階から家庭学習に取り組む習慣を身につけさせるとともに、小学校での学習内容の理解・定着を高め、中学校入学後の学習にスムーズにつなげる素地をつくる。
- ・中学校教員の専門的な指導を早期に受けることにより、児童が中学校の授業に慣れるとともに入学する児童の様子について中学校側が把握する。

○ゴール

- ・計画された事業を行い、市内5校の2～6年生の95%以上が「楽しかった！」、90%以上が「交流できた！」という気持ちを抱かせる。
- ・「家庭学習チャレンジ週間」の取組を通じ、1回目から4回目までの家庭学習の状況を分析し、学習時間の向上を図る。
- ・「家庭学習チャレンジ週間」の取組を通じ、1回目から4回目までの保護者コメントの状況を分析し、保護者関与の向上を図る。
- ・計画された乗り入れ授業を行い、市内5校の5・6年生の90%以上が「中学校の先生の授業をまた受けてみたい」「中学校の先生の授業はわかりやすかった」という気持ちを抱かせる。
- ・小学校版に寄せた中学校の「共通チャレンジシート」を作成する。
- ・「砂川市版キャリア・パスポート」を活用する。

○取組

学校連携WGでは、次年度についても青字の取組を継続実施する。

【作成するもの】

<input type="checkbox"/> 家庭学習チャレンジ週間	<input type="checkbox"/> 乗り入れ授業	<input type="checkbox"/> 5校交流会アンケート	※分析・考察
<input type="checkbox"/> 鏡文書(年4回)	<input type="checkbox"/> 計画	<input type="checkbox"/> 合同遠足アンケート	※分析・考察
<input type="checkbox"/> チャレンジシート(年4回)	<input type="checkbox"/> アンケート集計	<input type="checkbox"/> 学年交流会アンケート	※分析・考察
<input type="checkbox"/> アンケート集計(年2回)	※分析・考察		

○会議日程(案)

	日程(案)	主な内容
第1回	5月20日(火)	構成員と今年度の取組内容の確認 家庭学習チャレンジ週間の取組について
	6月5日(木)～11日(水)	家庭学習チャレンジ週間①
第2回	6月23日(月) ★オンライン	第1回家庭学習チャレンジ週間の分析・考察 合同遠足の実施に向けて【概要案】
第3回	7月17日(木)	合同遠足の実施に向けて【細案】
第4回	9月2日(火) ★オンライン	合同遠足の最終確認 第1回5校交流会に向けて①【概要案】
	9月12日(金)	合同遠足(5・6年)
	9月18日(木)～24日	家庭学習チャレンジ週間②
第5回	11月4日(火)	合同遠足反省・第1回5校交流会に向けて②【細案】
	11月13日(木)～19日	家庭学習チャレンジ週間③

	11月28日 (金)	第1回5校交流会① (6年生)
第6回	12月17日 (火) ★オンライン	第1回5校交流会反省・学年交流会について 第2回5校交流会に向けて①【概要案】
第7回	令和8年1月26日 (月)	第2回5校交流会に向けて②【細案】
	2月12日 (木)	家庭学習チャレンジ週間④
	2月20日 (金)	第2回5校交流会② (4・5年生)
	2月27日 (金)	3年学年交流会
	3月6日 (金)	2年学年交流会
第8回	3月16日 (月)	第4回家庭学習チャレンジ週間の分析・考察 第2回5校交流会及び学年交流会反省 取組の反省と次年度へ向けての展望

■学校事務ワーキンググループ

○ねらい

- ・義務教育学校開校に向けて、学校事務に関わる事柄について、市内で統一させるべきことについての検討・協議、決定をする。

○ゴール

義務教育学校開校時の学校事務業務について、次のことについて決める。

- ・私費会計の取扱いについて
- ・口座の統一について
- ・引き落とし日の設定について
- ・事務職員の業務分担について

○取組

学校事務WGでは、上記の事柄について、検討し決定する。

○展望

- ・本WGは、時限的なものとし、上記の事柄について決定次第、解散する。

○会議日程 (案)

	日程 (案)	主な内容
第1回	5月16日 (金)	構成員と今年度の取組内容の確認 論点の確認
第2回	7月16日 (水)	私費会計の取扱いについて 口座の統一について
第3回	8月28日 (木)	引き落とし日の設定について 事務職員の業務分担について

■特別支援教育ワーキンググループ

○ねらい

- ・義務教育学校開校に向けて、特別支援教育に関わる事柄についての検討・協議、決定をする。

○ゴール

義務教育学校開校時に向けて、次のことについて情報共有し、自校の教育活動に反映させる。

- ・担当児童生徒の特性及び支援方法について
※児童の組合せについて協議できる状況になることが望ましい。
- ・自立活動の取組について
- ・砂川学園におけるインクルーシブ教育システムの構築について

○取組

特別支援教育WGでは、上記の事柄について、検討し決定する。

○展望

本WGは、時限的なものとし、上記の事柄について決定次第、解散する。

○会議日程（案）

	日程（案）	主な内容
第1回	9月19日（金）	構成員と今年度の取組内容の確認 論点の確認
第2回	10月15日（水）	第1回で確認した論点に基づく協議
第3回	11月27日（木）	↓
第4回	12月 日（ ）	↓

■学校経営ワーキンググループ

○ねらい

- ・義務教育学校開校に向けて、本校の経営方針を定めたり、校内体制等の整備を進めたりすることを通して、円滑な学校運営を可能とさせる。
- ・各WGが作成していく学校運営に関わる詳細について、学校経営者の視点から実効性や持続可能性について勘案し、修正に向けた指導・助言を行う。

○ゴール

- ・学校経営方針の精査を行い完成させるとともに、グランドデザインを策定する。
- ・校内体制について詳細を検討し、決定する。
- ・砂川学園におけるPTCA組織の在り方について検討する。

○取組

- ・学校経営WGでは、義務教育学校開校までに次のことについて検討し決定します。

【決めるべきこと】

- | | | |
|--|---|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 学校経営に関わること | <input type="checkbox"/> 校内体制に関わること | <input type="checkbox"/> PTAに関わること |
| <input checked="" type="checkbox"/> 学校教育目標 | <input checked="" type="checkbox"/> 学年・ブロック体制 | <input type="checkbox"/> 学校運営協議会に関わること |
| <input checked="" type="checkbox"/> 目指す地域像 | <input checked="" type="checkbox"/> 校務分掌体制 | <input checked="" type="checkbox"/> ※社会教育課マター |
| <input checked="" type="checkbox"/> 人事に関わること | <input checked="" type="checkbox"/> 専科体制 | <input type="checkbox"/> 適応指導教室の運営 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 申請する加配 | <input type="checkbox"/> 部活動体制 | <input type="checkbox"/> 通級指導教室の運営 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 市費職員の人数 | <input checked="" type="checkbox"/> 特別委員会体制 | <input type="checkbox"/> 学校HPの運用 |

学校経営計画・グランドデザイン等の作成へ

○展望

- ・「学校経営計画」と「グランドデザイン」を完成させる。
- ・各種研究・検討、協議については、砂教研の学校経営部会において行うことを基本とするが、その他状況に応じて、定例校長会議において議論することもある。
- ・各WGの協議内容については、WGのアドバイザーを務める校長から適宜他の校長に情報提供をし、取組に関わる情報の共有に努める。

○会議日程（案）

	日程（案）	主な内容
第1回	6月4日（水）	今年度の取組内容の確認 グランドデザインについて
第2回	9月3日（水）	学校経営計画の内容について①
第3回	11月12日（水）	学校経営計画の内容について② 部活動体制について
第4回	令和8年2月4日（水）	開校までの庶務整理
適宜	定例校長会の中で	必要に応じた内容で

3 連絡事項

閉 会